

3



hina no marebitoのまねびと

地歩を固めた。
東京に戻った
中井さんは幼い
我が子へ絵本の
読み聞かせを日
課に。そんなと
き絵本作家の森
山京さんの「き

「『つりばしゆらゆら』に心揺さぶられて会を立ち上げました」。落ち着いた口調でこう語るのは往年の銀幕スター佐田啓二氏を父に持つ女優の中井貴恵さん。自らも映画『制覇』で日本アカデミー賞助演女優賞を受賞。結婚を機に女優業を休業。夫の勤務地のアメリカで『貴恵のニューイングランド物語』、札幌で『ピリカコタン〜北の大地からのラブレター〜』などを上梓しエッセイストとしての

大人と子供への読みきかせ20年

女優・エッセイスト
中井貴恵さん (61)



つねのこシリーズ」の1冊『つりばしゆらゆら』との邂逅が。「きつねのこんすけが友達の声で吊り橋を渡り切らないで戻った。ハッピーエンドとはほど遠いこの結末に胸を締め付けられた。こんな素晴らしい童話を自分の声でみんなに伝えたい、子どもだけでなく大人にも」と決意し「大人と子供のための読みきかせの会」を立ち上げた。これまでに幼稚園や小中学校、老人ホーム、病院等で1400回の公演を実施。

この間、ピアノの荒井泰子さんが病気で半身の自由が利かなくなり、妹の高槻真理子さんが左手になって伴奏した。尺八の三塚幸彦氏、箏の小野美穂子さん夫妻は音楽グループ「遠音」の活動の傍ら参加している。チェロの清水彩智さんは絵本『1000の風 1000のチェロ』に出会い再び楽器を手にした。大型絵本作作・

操作の平野知代子さんと宗佳代子さん姉妹は演目ごとに工夫を凝らした作品に仕上げた。照明は加藤悦子さんだ。先日のスクエア荏原ひらつかホールでの20周年記念公演「My 20 Years」それぞれの20年感謝をこめては第1部「もう一度見たい見せたいあのシーン」(15作品のうち9作品をダイジェスト)、第2部「はなさかじいさん」(新作)の二部制。会場は満席。20年前に小学生だった女性も子供を連れて来てくれたそうだ。この読みきかせは東京都心から車で2時間程度の範囲、水・木曜(祝日、夏・春休みを除く)に訪問している。「西多摩地区では大学の同級生が羽村の中学校で教員をしていた関係で毎年訪問しています。すごく素直なお子さんばかりで絵本の世界を楽しんでくれます」とは中井さんの弁。